

MATSUDO CITY MONTHLY NEWS 松戸市感染症情報



発行日：2025年7月9日
発行：健康医療政策課
次回は8月13日 発行予定

表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関 あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				A群溶血性レンサ球菌 菌咽頭炎			
	6/2~ 6/8	~6/15	~6/22	~6/29	6/2~ 6/8	~6/15	~6/22	~6/29	6/2~ 6/8	~6/15	~6/22	~6/29	6/2~ 6/8	~6/15	~6/22	~6/29
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	1.80	1.40	1.25	1.90	101.85	100.33	91.95	86.15	9.31	8.77	11.31	8.15	8.77	8.08	5.46	6.62
定点医療機関数	20				20	18	20		13				13			
前週比	↑	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↑
コメント	松戸保健所管内では30歳以上の年齢で増加しています。 0歳から29歳……23.7% 30歳から59歳……42.1% 60歳以上……34.2%				4/7から定点医療機関による報告の対象となり、急性の上気道炎・下気道炎を起こす病原体の総称です。飛沫感染で周囲にうつしやすいのが特徴です。				高温多湿のこの時期は細菌を原因とした感染性胃腸炎が増えます。嘔吐物等を処理した後は、石けんと流水で手を洗いましょう。				松戸保健所管内では9歳以下の年齢の割合が高いです。 0歳から5歳……39.5% 6歳から9歳……41.9% 10歳以上……18.6%			
千葉県	1.27	1.22	1.29	1.68	69.83	65.14	60.14	59.95	4.95	4.58	5.21	4.79	3.98	3.58	3.03	3.07
前週比	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↓	↓	↑
東京都	0.94	0.82	0.84	1.27	58.55	56.48	53.43	52.29	6.78	6.39	6.38	6.01	4.43	4.02	3.23	3.35
前週比	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↑

すいとう 近隣市で水痘(水ぼうそう)が増加

今年は県内の感染者数が直近5年間で高い水準で推移しており、松戸保健所管内の直近の定点報告数は0.69ですが、船橋市は報告数が2.11となり、国が定める警報基準値「2」を超えました。

どんな病気？

水痘帯状疱疹(すいとうたいじょうほうしん)ウイルスと呼ばれるウイルスに感染することにより、発熱と発しんが現れます。患者の多くは9歳以下です。大人がかかることはまれですが、かかると子どもより重症化するリスクがあります。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。

発熱と全身に広がる水ぶくれが特徴

- 2週間程度の潜伏期間のあと、38度前後の発熱
- 全身にかゆみのある発しんができたあと、短期間でみずぶくれや膿胞(膿のたまった水ぶくれ)となり、かさぶたになり治る。
- 数日にわたり次々と新しい発しんがあらわれ、発しんの出現1~2日前から、出現後4~5日にかさぶたになるまで感染力がある。

最も有効な予防法はワクチン接種です。定期接種対象期間になりましたら早めに受けましょう。

今年麻疹(はしか)が県内で15例発生！

第1週(12/30)から第26週(6/29)まで

麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血等の症状がみられた場合には、医療機関に電話等で麻疹の疑いがあること伝え、医療機関の指示に従いましょう。

ジカ熱・デング熱予防 蚊から身を守りましょう！！

蚊に刺されることにより起こる感染症

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。蚊(日本ではヒトスジシマカ)が感染した人の血を吸うとウイルスが体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。発熱、頭痛、筋肉痛、皮膚の発疹が主症状です。



蚊に刺されないようにしましょう！

- 肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する
- 素足でのサンダル履きを避ける
- 白などの薄い色のシャツやズボンを選ぶ
- 露出する部分には虫よけスプレー等を使い、蚊を寄せ付けないようにする
- 蚊取り線香等を使って蚊を近づけない



蚊の発生源をなくそう！

- 定期的に蚊の幼虫が発生しそうな水たまり(※)の除去・清掃をしましょう！
(※植木鉢の皿・古タイヤに溜まった水たまり・雨ざらしの用具・野外に放置された缶やボトル・つまった側溝など)
- 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう。

海外での感染に注意！

デング熱ウイルスを媒介する蚊が生息する熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国で多くみられます。旅行等で海外に出かけるときは、渡航先の感染症の発生状況に関する最新の情報や注意事項を確認しましょう。



FORTH
国地域別情報